



「第27回岡本太郎現代芸術賞 (TARO 賞)」展

The 27th Exhibition of the Taro Okamoto Award for Contemporary Art

第 27 回岡本太郎現代芸術賞 (TARO 賞) 受賞者が決定しました。

今回の授賞式では岡本太郎賞(1 点)、岡本敏子賞(1 点)、特別賞(10 点)が選ばれました。

岡本太郎賞

つん 《今日も「あなぐまち」で生きていく》



岡本敏子賞

みすみ ひとみ
三角 瞳

《This is a life. This is our life.》 ※作品名はイタリアックでご表記ください。



PRESS RELEASE



川崎市 岡本太郎美術館
Taro Okamoto Museum of Art, Kawasaki

特別賞 (50 音順)



いけだ たけし
池田 武史
《Space X》



おさ ゆきえ
長 雪恵
《きょうこのごろ》



おやま やすみ
小山 恭史
《無明》



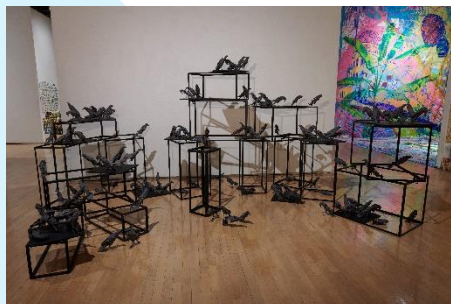
クレメンティン・ナット
《POT PLANTS!》



げっこうしゃ
月光社
《MUSAKARI》



こやま くみこ
小山 久美子
《三月、常陸國にて魷鯨を食ふ》



そう かいじょ
ZENG HUIRU
《BACK TO ME》



タツルハタヤマ
《小鳥のさえずりを聞くと、
遠くで銃声が鳴り響いた》



フロリアン・ガデン
《Anomalies poétiques / 詩的異常》



むらかみ つとむ
村上 力
《學校》



展覧会プレスリリース

「第27回岡本太郎現代芸術賞(TARO 賞)」展

The 27th Exhibition of the Taro Okamoto Award for Contemporary Art

時代を創造する者は誰か！

1954 年、岡本太郎 43 歳のときに出版された『今日の芸術』。この本には「時代を創造する者は誰か」というサブタイトルがつけられていました。

1996 年、岡本太郎没、享年 84 歳。

その直後、岡本太郎記念現代芸術大賞（2006 年岡本太郎現代芸術賞に改称）、通称「TARO 賞」が創設されました。彼の遺志を継ぎ、まさに「時代を創造する者は誰か」を問うための賞。今年で 27 回目を迎えた本賞では、621 点の応募があり、厳正な審査の結果、22 組が入選を果たしました。

入選作品は、川崎市岡本太郎美術館「第 27 回岡本太郎現代芸術賞」展にて公開いたします。21 世紀における芸術の新しい可能性を探る、「ベラボーな」（太郎がよく使った言葉です）作品をご覧ください。



第 27 回岡本太郎現代芸術賞展
ポスタービジュアル

開催概要

会 期	2024 年 2 月 17 日（土）～4 月 14 日（日）
会 場	川崎市岡本太郎美術館 企画展示室
主 催	川崎市岡本太郎美術館、公益財団法人岡本太郎記念現代芸術振興財団
開館時間	9:30～17:00（入館は 16:30 まで）
休 館 日	月曜日、3 月 21 日（木）
観 覧 料	一般 700（560）円、高・大学生、65 歳以上 500（400）円 中学生以下は無料 ※（ ）内は 20 名以上の団体料金 ※本料金で常設展もご覧いただけます。

同時開催：常設展「人のかたち：岡本太郎の人体表現」会期：1 月 20 日（土）～4 月 14 日（日）

※開催期間等、変更になる場合がございます。最新の情報は当館ホームページにてお知らせいたします。

入選者(50 音順)

池田武史 IKEDA Takeshi
大河原健太 OKAWARA Kenta
長雪恵 OSA Yukie
遅四グランプリ実行委員会

OSO (Operation team of SLOW MINI
4WD GP Organization)

小山恭史 OYAMA Yasufumi
クレメンティン・ナット Clementine Nuttall

月光社 Gekkosha
小山久美子 KOYAMA Kumiko
GORILLA PARK
鈴木のぞみ SUZUKI Nozomi
ZENG HUIRU
タツルハタヤマ TATSURU HATAYAMA
つん Tsun
野村絵梨 NOMURA Eri

林楷人 HAYASHI Kaito
フロリアン・ガデン FLORIAN GADENNE
三角瞳 MISUMI Hitomi
村尾 かずこ MURAO Kazuko
村上力 MURAKAMI Tsutomu
横峯竜之 YOKOMINE Tatsuyuki
横山豊蘭 YOKOYAMA Houran
李函樺 LI Hanxun



出品作品

入選者による 平面、立体、映像、インスタレーション作品、他 22 点

審査員(50 音順)

榎木野衣 : 美術批評家／多摩美術大学教授
土方明司 : 川崎市岡本太郎美術館館長
平野暁臣 : 空間メディアプロデューサー／岡本太郎記念館館長
山下裕二 : 美術史家／明治学院大学教授
和多利浩一 : ワタリウム美術館キュレーター

関連イベント

1) お気に入りを選ぼう！

第 27 回 TARO 賞入選作品の中から、ご来館の皆さまにお気に入り作品を投票していただきます。投票結果は、HP 等で発表するとともに、上位の作家には記念品を進呈します。

日 時：2024 年 2 月 17 日（土）～3 月 17 日（日）
場 所：ギャラリースペース
結果発表：2024 年 3 月 22 日（金）（予定）
※展示作品をご覧になるには、観覧料が必要です。



2) お手紙プロジェクト

作品の感想などを共有する「お手紙プロジェクト」。ご来館の皆さまに、入選作家や作品へのメッセージを書いていただく企画です。

日 時：2024 年 2 月 17 日（土）～4 月 14 日（日）
場 所：ギャラリースペース



3) 出品作家によるリレートーク

出品作家によるリレートークを行います。

日 時：未定（会期中、4 回程度実施予定）
場 所：企画展示室
※ご覧になるには、観覧料が必要です。

その他、関連イベントの詳細につきましては、当館ホームページでお知らせいたします。
川崎市岡本太郎美術館ホームページ <https://www.taromuseum.jp>

写真撮影・SNS 等への画像掲載について

本展覧会は、会場内をご自由に撮影することができます。SNS 等への発信も可能です。

（※動画撮影、フラッシュ撮影、三脚・自撮り棒・ジンバル等の器材の使用は不可）

会場や作品の様子が SNS 等を通じてシェアされ、来館者と作家とのコミュニケーションのきっかけになればと考えています。

お問い合わせ

川崎市岡本太郎美術館 展覧会担当：喜多、千村、澤田 広報担当：山内 (pr@taromuseum.jp)
〒214-0032 神奈川県川崎市多摩区枳形 7-1-5 生田緑地内
TEL：044-900-9898 /FAX：044-900-9966 <https://www.taromuseum.jp>

